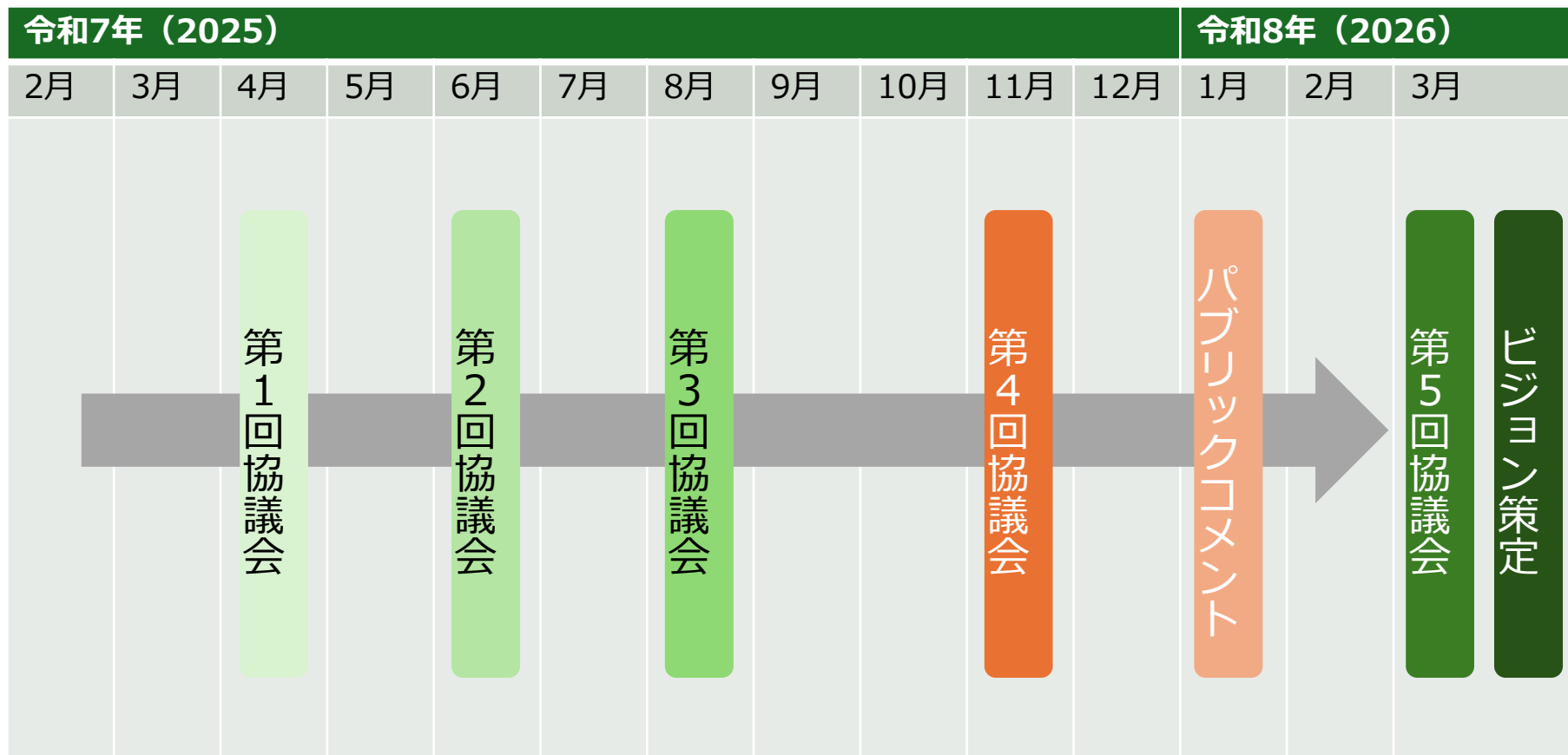


第4回 清瀬駅周辺の未来構想ビジョン策定に向けたまちづくり協議会

前回の振り返りとビジョン素案作成の経緯

1. ビジョン策定スケジュール案
2. 前回の振り返り ー将来像についてー
3. 今までの振り返り ー方向性と取組についてー



第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
<ul style="list-style-type: none"> 策定スケジュール 過年度の検討成果 まちづくりの課題・将来像 	<ul style="list-style-type: none"> 将来像に対する施策 	<ul style="list-style-type: none"> 官民連携 ビジョン内容（骨子） 将来像 	<ul style="list-style-type: none"> ビジョン素案 	<ul style="list-style-type: none"> ビジョン案 次年度以降の進め方

2. 前回の振り返り ー将来像についてー

- 第3回まちづくり協議会（前回）で提示した**まちづくりの将来像**は以下の3案の通りである。



清瀬駅周辺の将来像として適切な案や、大事なキーワードについて議論しましょう！

案①

みんなでつくる { にぎやかでホッとする } 清瀬の玄関口
 { 安心・快適・にぎやかな }

案②

笑顔があふれ にぎわいがひろがる 清瀬のまちの拠点

案③

みどりにふれ 健幸に暮らす にぎやかな清瀬の玄関口



■市の上位計画

<第5次長期総合計画（※暫定版）>

- 基本理念：
『ともに未来をひらき 笑顔とみどりがあふれるまち 清瀬』
- 将来像：『「思いやりに包まれ健やかに暮らす」きよせ』
 『「子どもも大人も学びあい育ちあう」きよせ』
 『「安全・安心・快適に暮らせる」きよせ』
 『「活気があふれる」きよせ』

<都市計画マスタープラン>

- 都市づくりの目標：
 『安全・安心な都市づくり』
 『みどりを守り生かす都市づくり』
 『誰もが移動しやすく豊かに暮らせる都市づくり』
 『都市の活力創出につながる都市づくり』
 『市民との協働による都市づくり』

2. 前回の振り返り ー将来像についてー

- ・ 前頁の3案に対して、第3回まちづくり協議会当日と事後アンケートで出た主な意見を整理した。

＜協議会当日の主な意見のまとめ＞

- ・「玄関口」という言葉は、交流人口や来訪者の観点からするとよい言葉であるが、**市民からすると適切な言葉ではない**
- ・「みどりにふれ」は**駅周辺に対する言葉ではない**と思う。
- ・東京なのに**時間の流れが緩やかな点**が清瀬の良いところであり、新宿・所沢と異なった**程よい感じ**を作りたい。
- ・高齢者が増えている中で、若い人を呼び寄せることだ大切であり、**若い人が魅力的と感じるような言葉遣い**が望ましい。
- ・575ではないが、**読んでいて覚えやすい言葉**が良い。
 - ・「健幸」という言葉は「安心」の中に、「にぎやか」という言葉は「笑顔」に入ると思う。そのため、これらの3案の中では、「**安心、快適、にぎやか**」が最も好ましい。

＜委員から出た具体的な案（当日の意見と事後アンケートより）＞

- ・ みんなでつくる 安心・快適・にぎやかな 清瀬の発着点
- ・ みんなでつくる あんしん かいてき にぎやかな 清瀬のまどぐち
- ・ 好きなものに逢える駅、幸せを受け入れる駅、清瀬
- ・ 10年先も、20年先もみんなで育ってる清瀬の顔
- ・ 人と町が共に育つ、これからの清瀬駅前
- ・ だれもが、安全／安心な街
- ・ 住みやすい町 清瀬を繋ぐ プラットフォーム
- ・ 暮らしが輝く 清瀬が繋がる プラットフォーム
- ・ にぎやかで 心安らぐ 清瀬駅
- ・ 帰るとほっとする清瀬の玄関口
- ・ みんなのきよせ ほっと(HOT)エリア
- ・ 健幸な 笑顔が集う 清瀬の町の中心地
- ・ みんなで創る、次世代が集い、にぎわいの清瀬ステーション
- ・ 次世代が集う、にぎわいと安心・快適な清瀬の玄関口
- ・ 時間の流れが優しい清瀬駅
- ・ 裏東京・清瀬駅
- ・ 清瀬駅で時間を忘れよう

2. 前回の振り返り ー将来像についてー

- 第3回まちづくり協議会での意見をもとに、将来像案を再検討した。

今までの意見をふまえ、将来像に含めたい要素

- ★「みんなでつくる」 のような文言は残したい
- ★「にぎやか」 のような表現は商店街も連想させるため残したい
- ★「ホッと系」 の清瀬っぽいのんびり感は表したい
- ★「玄関口」 に代わる何かを入りたい



将来像案

第一候補

みんなで育む まちの **ホッと** リビング きよせエキマチ

みんなで育み ホットする 駅まちリビング きよせ

みんなで育む **ホッと**ステーション きよせ

2. 前回の振り返り ー将来像についてー

- 庁内検討会議では、下記の3案を提示した。大きな反対意見はなく、概ね同意を得た。事務局による最終調整のうえ、ビジョン素案では『みんなで育む まちのホッとリビング 駅まちきよせ』を示している。※ビジョン素案（資料2）にて説明

第一候補

みんなで育む まちの **ホッ** とリビング きよせエキマチ

みんなで育み ホットする 駅まちリビング きよせ

みんなで育む **ホッ**とステーション きよせ



庁内検討会議での同意＋事務局による最終調整



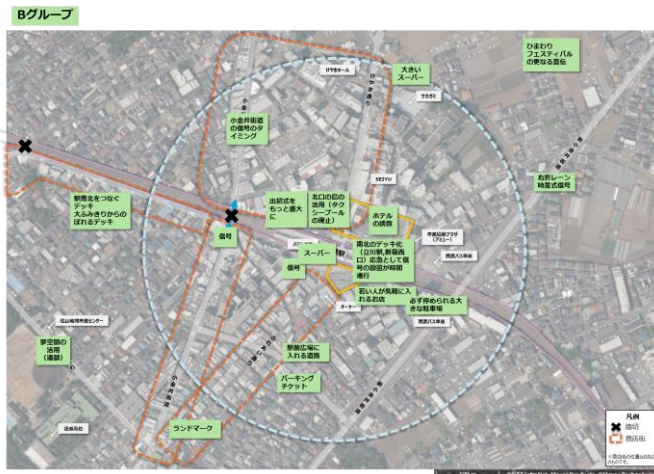
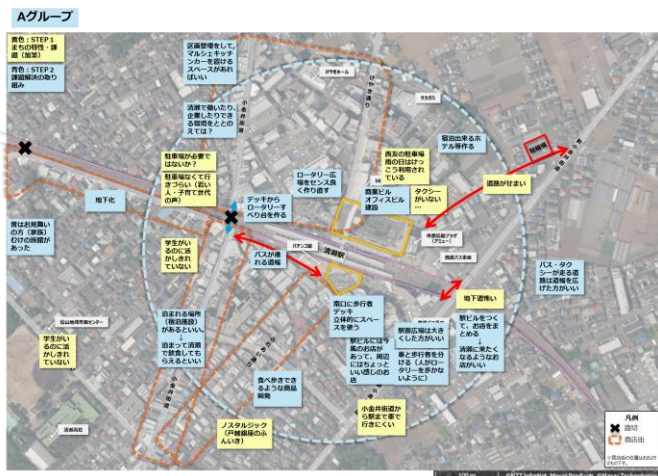
〈ビジョン素案〉

清瀬駅周辺のまちの姿

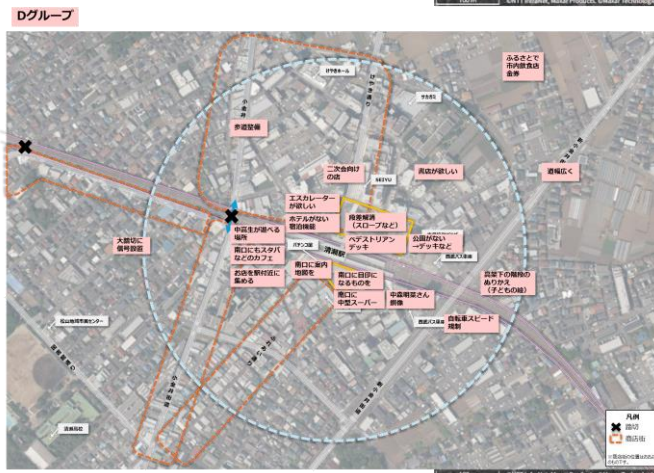
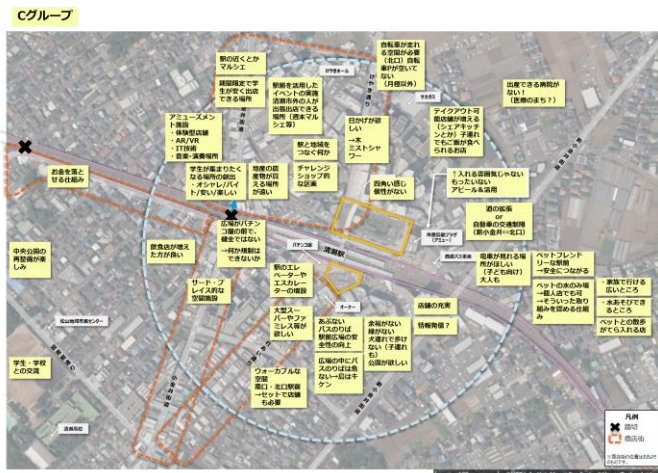
みんなで育む まちの **ホッ** とリビング 駅まちきよせ

3. 今までの振り返り 一方向性と取組について

- 第2回まちづくり協議会にて様々なご意見を頂戴した。
- A～Dの4班に分かれ、「清瀬市の特性と課題・取組」に関する内容を中心に議論した。



議論風景



発表風景

各班の議論結果

3. 今までの振り返り 一方向性と取組について一

資料1

- 第1回まちづくり協議会で提示したまちづくりの方向性（たたき）、第2回まちづくり協議会で頂戴した意見を踏まえ、2度の庁内検討会議や庁内での意見照会を実施。方向性と取組の深度化を行った。

3. 清瀬駅周辺の特性と課題の再整理について

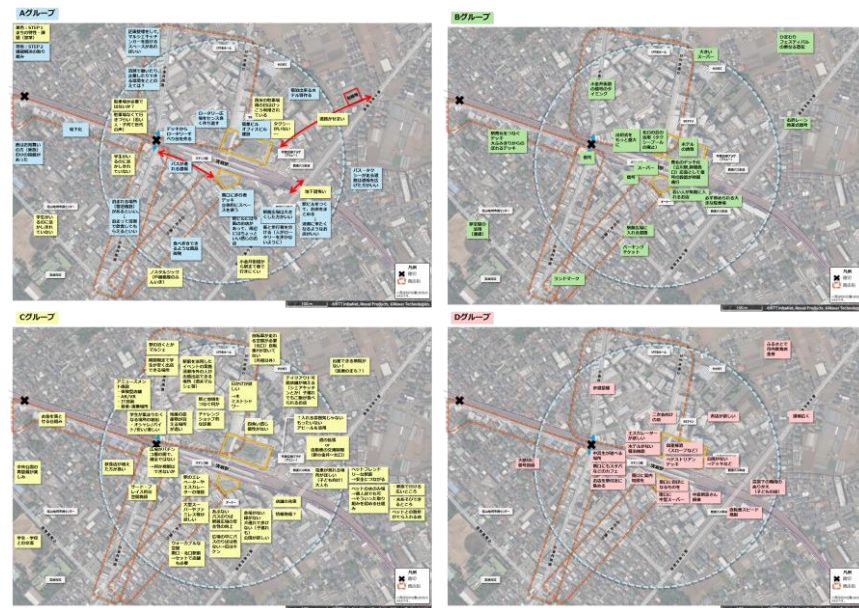
資料6

(3) まちづくりの方向性と必要な取り組み（たたき）

エリアの特性と課題の再整理を踏まえ、将来像およびまちづくりの方向性の今回案を示しています。

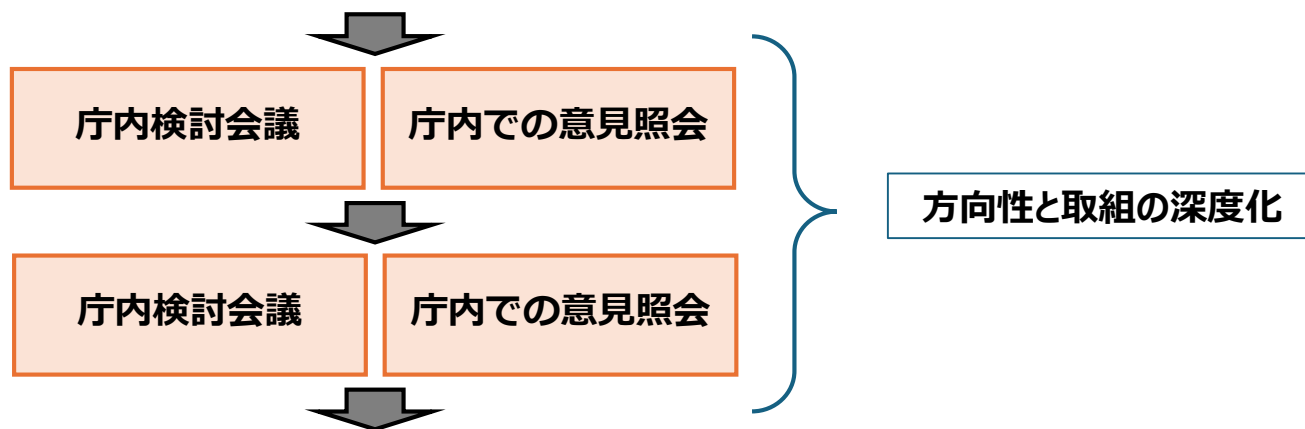
エリアの特性	エリアの課題	将来像	まちづくりの方向性
<ul style="list-style-type: none"> 市民生活を支える機能が集積し、様々な人が住みやすいエリア 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な世代が暮らしやすい居住機能の維持・強化 	<p>清瀬駅周辺は、清瀬市の中心部であり、清瀬市の発展を支える重要な役割を果たしている。また、清瀬駅周辺は、清瀬市の中心部であり、清瀬市の発展を支える重要な役割を果たしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> まちの拠点機能を強化するまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> 交通結節点として、市内や都心部・他エリアへアクセスしやすいエリア 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もがアクセスしやすい交通結節点機能の強化 		<ul style="list-style-type: none"> まちの利便性・安心・安全性を高めるまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> 都心へのアクセスが良好な都内に位置しながら、農を身近に感じられるエリア 	<ul style="list-style-type: none"> 農に触れ合える空間や機会の創出 		<ul style="list-style-type: none"> 誰もが健康になれるまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> 医療の歴史と充実した医療サービスを持ち、健康やWellnessが実現できる潜在力を有するエリア 	<ul style="list-style-type: none"> 大学や医療サービスの集積を活かしたまちづくりの推進 		<ul style="list-style-type: none"> 清瀬の地域資源（農業・医療）の魅力を表出させるまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> 若い世代が日常的にまちに住み、通い滞在しているエリア 	<ul style="list-style-type: none"> エリア内での憩い・交流・活動を生み出す環境・動線の確保 		<ul style="list-style-type: none"> ゆとりを感じられるまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> 老舗や専門店など個性ある店舗が集積し、歩いて楽しい商店街が立地するエリア 	<ul style="list-style-type: none"> 清らしい活力とにぎわいを生み出す商業・業務機能の維持・充実 		<ul style="list-style-type: none"> ひととつながり、参加できるまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> 安全な環境で、人とのつながりを感じられるエリア 	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心なまちなか環境の維持・向上 		
	<ul style="list-style-type: none"> 官民が連携しながらまちづくりを推進する体制の構築 		

7



まちづくりの方向性（第1回まちづくり協議会）

頂戴した意見（第2回まちづくり協議会）



3. 今までの振り返り 一方向性と取組についてー

- ・ 事務局内で最終調整を行い、方向性と取組についてビジョン素案には以下の案を示している。※ビジョン素案（資料2）にて説明

01 まちの拠点機能を強化する

◆ 商業・居住・業務・宿泊・観光機能の適正配置

駅前にはふさわしい拠点機能の集積を促進するため、生活利便商業・サービス機能やウェルビーイングな居住機能、業務機能、宿泊機能、観光機能などの立地を誘導するとともに、複合化などによって利便性を高めます。

◆ 安全・安心で誰にとってもやさしい施設整備・活動の推進

誰にとってもやさしい拠点にするため、老朽化した建物の更新や防災・防犯機能の強化などによって安全を確保するとともに、子どもからお年寄りまで、すべての人へ安心を提供できる施設の整備や活動を推進します。

◆ 既存公共機能の維持活用や周辺公共機能との連動

今ある拠点機能に対しさらに磨きをかけるため、生涯学習センター（アミュー）などの既存公共機能の維持・活用を行うとともに、南部児童館等複合施設及び中央公園をはじめとした、周辺公共・公共的機能との連動を図ります。

◆ 憩い・潤い・にぎわいのある広場・オープンスペースの確保

誰にとっても居心地のよい拠点にするため、憩い・交流・活動できる広場・オープンスペースの確保やストリートファニチャー、芝生や植栽などの設置を推進します。

02 まちの交通機能を強化する

◆ 駅前広場や都市計画道路の整備・更新とその事業推進

安全で利便性の高い交通機能を確保するため、南口駅前広場や都市計画道路の整備を推進するとともに、ニーズにあわせた北口駅前広場の更新を図ります。

◆ 歩道整備などによるバリアフリーやユニバーサルデザインの推進

誰にとっても移動しやすい空間にするため、歩道の整備などによる歩車分離をはじめとした、駅及び周辺のバリアフリー化やユニバーサルデザインの推進を図ります。

◆ 駅の南北往来の安全性確保や利便性向上

線路によって分断されている清瀬駅南北の交通を円滑化するため、踏切の安全性確保や歩行者アクセス性の向上など、駅の南北往来の安全性確保や利便性向上を図ります。

◆ 放置自転車や路上駐車対策の推進

自転車や自動車のアクセス性と安全性を高めるため、駐車場や駐輪場等の必要規模の確保や、駐車マナーの改善や放置自転車対策を推進します。

3. 今までの振り返り 一方向性と取組についてー

- ・ 事務局内で最終調整を行い、方向性と取組についてビジョン素案には以下の案を示している。※ビジョン素案（資料2）にて説明

03 まちの環境を維持向上するルールをつくる

◆ 景観形成のルールづくり

良好でゆとりある景観を形成するため、沿道建物の1階部分を憩いやにぎわいに資する空間とすることやオープンスペースでの植栽設置、緑化の促進など、地域特性に応じた景観形成のルールづくりを推進します。

◆ 都市基盤整備と一体化した沿道におけるにぎわいの誘導

沿道空間の魅力と利便性を高め、にぎわいのある都市環境を実現するため、都市基盤整備と連動した空間の再構成や建築物の誘導を推進します。

◆ 老朽化した建物の更新誘導

安全で魅力ある都市環境を実現するため、土地利用の方針や建築の誘導を通じて、段階的かつ計画的な建物の更新を促進します。

◆ クリーンで健幸につながる環境づくり

きれいで心豊かな生活ができる環境づくりを実現するため、ゴミのポイ捨て抑制や喫煙マナーの周知、公共交通や建築物において脱炭素化を促進するなど、公共マナーや生活環境の向上に向けた取り組みを推進します。

04 まちを動かす人や機会の仕組みをつくる

◆ まちの主体・関係者連携を促す地域のプラットフォームの形成

地域の多様な主体が連携し、持続的なまちづくりを実現するため、関係者が協働できる仕組みや対話の場となる地域のプラットフォームの形成を推進します。

◆ 若い世代に魅力的で地域の発展に寄与するイベントの推進や主体的運営の促進

学生をはじめとした若い世代が地域に関わり、まちの活力を高めることを実現するため、公共空間等を活用した魅力的な活動やイベントの展開を推進するとともに、自らが主体的に運営や活動ができるよう促進を図ります。

◆ ウォーカブルな空間等の創出・活用に向けた取り組み

歩いて楽しい、歩きたくなる空間を創出するために、道路空間をにぎわい創出に活用できる仕組みの導入を推進します。また、空間を利用したマーケットや、農や自然に触れ合える機会の創出、健康増進に繋がるイベントやキャンペーンなどの開催を推進します。

◆ 商店街のにぎわい創出に繋がる創業・出店・利活用の促進

にぎわいを創出するため、昔ながらの商店街の魅力を維持するとともに、新しく創業・出店する人材の支援や、空き店舗等の利活用を推進します。